ISS・きぼうウィークリーニュース

平成15年7月29日発行　第62号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

☆最初のISS構成要素打上げから1712日経過しました
☆第7次長期滞在クルーのISS滞在は92日経過しました

コンピュータを操作するルー宇宙飛行士

マイケル・フォール宇宙飛行士(左)と
アレクサンダー・カレリ宇宙飛行士(右)

☆ISS動向

ルー宇宙飛行士は、米国時間7月25日(金)にクルーではなく地上からISSのロボットアームを操作する試験で管制官を支援しました。

マレンチェンコ宇宙飛行士は、1週間を通してロシアの医学テストに参加しました。また、プログレス補給船に不要品を積み込みました。

両宇宙飛行士は10月の帰還に備えて、同7月23日(水)に、地上からの支援を受けながらソユーズ帰還訓練を行いました。

また、NASAは同7月25日(金)に、NASAの宇宙飛行士、マイケル・フォールとロシアの宇宙飛行士、アレクサンダー・カレリが第8次長期滞在クルーになることを発表しました。第8次長期滞在クルーは同10月18日(土)に、欧州宇宙機関(ESA)の宇宙飛行士、ペドロ・デュークと共に打ち上げられる予定です。なお、ペドロ・デューク宇宙飛行士は、ISSに1週間滞在した後、第7次長期滞在クルーと共に帰還する予定です。

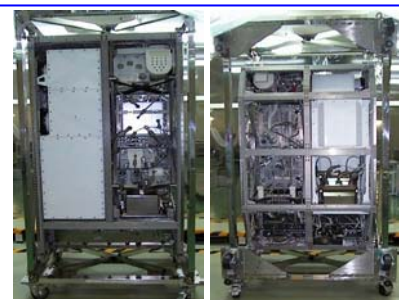
“今週の「きぼう」”

☆適合性確認試験（MEIT-Ⅲ）の準備状況

米国NASAケネディ宇宙センターでは、順調に「きぼう」の船内実験室と第2結合部（ノード2）との適合性確認試験（MEIT-III）の準備が進んでいます。

先週は船内実験室の冷却水配管内の空気除去を引き続き行いました。また、冷媒置換の終了した環境制御系(ECLSS)／熱制御系(TCS)#2ラックを船内実験室に取り付け、ロボットアーム操作卓の冷媒置換を行いました。

MEIT-Ⅲは8月下旬から開始される予定です。


船内実験室ECLSS/TCSラック
（写真左:前面、写真右:背面、写真左の左側がECLSS,写真左の右側がTCS）

“トピック”

☆六本木で宇宙メダカ放流

スペースシャトルで宇宙を旅した「宇宙メダカ」の子孫約1万匹が7月25日(金)に六本木ヒルズ（東京都港区）の毛利池に放流されました。

宇宙メダカとは、1994年7月に向井宇宙飛行士とともにスペースシャトル（STS-65）で宇宙に旅立ち、微小重力の中で脊椎動物として初めて産卵した4匹のメダカの子孫です。この子孫を全国の小学生達約800名が里親となって飼育し、毛利宇宙飛行士や宇宙メダカ実験の提案者である井尻憲一博士も参加して放流会が行われました。

実験用水槽内の宇宙メダカ

☆ケータイでISSを見よう

人気コンテンツ「国際宇宙ステーション(ISS)を見よう」の携帯電話対応版を公開しました。ISSが日本上空を通過する際の正確な時刻や方位を提供するもので、最近の携帯電話ならISSの「現在位置情報」をリアルタイムで表示させることもできます。夏休みは方位磁石を持って、見晴らしのいい場所に出かけましょう。国内102箇所をカバーしています。

i-mode版　http://space.nasda.go.jp/mobile/iss/i/
J-SKY版　http://space.nasda.go.jp/mobile/iss/j/
Ezweb版　http://space.nasda.go.jp/mobile/iss/e/

なお、このコンテンツに関するお問い合わせは、proffice@nasda.go.jpにお願いします。

携帯電話の画面例

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)に移行します。

問い合わせ先:宇宙開発事業団　宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター　TEL: 029-868-3074
ISS・きぼうホームページ　http://jem.tksc.nasda.go.jp/　Eメール kibokoho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。